



はくさんちゅう

柏三中だより 教育目標：豊かな心をもって 自ら学び鍛える生徒

三中魂 (挑戦・忍耐・協力)

柏崎市立第三中学校 〒945-0845 柏崎市新赤坂 1-2-10

☎23-2821 E-mail: daisan@kenet.ed.jp

第 335 号

令和 7 年 2 月 27 日発行

学 校
ホー ム
ペー ジ
→



過ちは繰り返しませぬから (For we shall not repeat the evil.)

校長 須藤 泰司

春間近と思っていたら、厳しい寒波が押し寄せます。まだ、三寒四温とはなりませんが、桜の幹がツヤやかに色を帯びてくると見ると、春の存在を感じずにはおれません。寒波の波を縫って、2年生が2/13～15に広島・京都への修学旅行に出かけてきました。寒波の影響で福井県くらいまでは雪景色が残っていましたが、初日の広島は快晴、その後の京都はコートのような陽気でした。広島の宿泊ホテルで「くれぐれもお部屋に忘れ物はなさぬよう。なんと、全く忘れ物のない学校は8%しかない」とくぎを刺されたのですが、第三中はその8%の仲間入り。お天気は、2年生の行いの良さの賜物かもしれません。

平和学習について ～広島平和資料館見学と平和祈禱集会～

広島に行った理由は、もちろん平和学習です。事前学習で現地から被爆体験伝承者の山口恵司様を講師にお招きし、原爆投下後の広島市の惨状、被害の様子と広島の方々の苦しみ等を学んだ2年生たち。現地に行き平和資料館を見学することで、自分たちの目で耳で確認しました。生徒たちは、原子爆弾・核兵器の恐ろしさを学習するに、息をのみ、真剣に見学をしていました。思わず目を覆う姿もありました。資料館見学後、「原爆の子の像」の前で平和セレモニーを行い、平和への誓いを全員で唱和しました。この像は、子供たちの思いが形となったものです。2歳の時に被爆した佐々木貞子さんが、小学校6年生の時に原爆症（白血病）を発症し、また元気な姿に戻れることを夢見て鶴を折り続けながら、命を落としました。同級生たちは、二度このような思いをする子供たちを出してはならないと行動を起こし募金を呼びかけ、その思いが日本中に広がり、建てられたのです。右のように彫られたメッセージが祈りを捧げる三中生徒たちの言葉と共に胸に深く響きました。平和記念公園には丹下健三氏の設計した「平和の灯」があります。両手を広げた真ん中に火が燃え盛っています。



これは ぼくらの叫びです
これは わたしたちの祈りです
世界に平和を きずくための

この火は世界から核兵器がなくなった時に、消されるのだそうです。その一直線上に原爆の壮絶な破壊力とその後の原爆症で亡くなられた人を慰霊する「原爆死没者慰霊碑」があります。その中には死没者の名簿が安置されています。原爆投下、第二次大戦終了から80年たっても、名簿の数が増えていっていることに、人類の犯した過ちの大きさを知る思いです。慰霊碑には「安らかに眠ってください 過ちは繰り返しませぬから」と刻まれています。非常に重みのある言葉ですが、戦後当初からこの文の主語はだれを指すのか、議論がありました。原爆被害はその投下がなされなければ、起こっていない。繰り返さない、という表現は落したものが主語でなければならないのではないか、と。

昨年「原爆の父」といわれた「オッペンハイマー」の映画を観ました。激しい戦闘に世界が巻き込まれた第二次世界大戦。ヨーロッパではヒトラーのナチスドイツが台頭し、領土的な野心から支配を進めました。ユダヤ人の虐殺など、暴挙を振るうそのナチスが原子爆弾を開発している。ナチスより、早く原子爆弾を完成しその動きを止める、その思いでオッペンハイマーは原子爆弾開発の指揮を執ります。アメリカは実験に成功し、期せずしてドイツが降伏をした後に、原子爆弾は完成します。もう、開発の使命は終わったかと思われ。しかし歴史の通り、それは広島に長崎に投下され20数万人の人たちが命を落としました。自分のしたことに深く悩みながらも自分を正当化するオッペンハイマー。人は彼を、神から火を奪って人間に与えた神話上のプロメテウスになぞらえます。火は生活を豊かにしましたが、同時にあらゆるものを焼き尽くす凶暴な武器にもなったからです。戦後、原爆どころかさらに莫大な破壊力のある水素爆弾の開発に取り組もうとする政府にオッペンハイマーは反対します。「作れば、必ず使いたくなる。それが人間だ」と。私は、平和記念公園で、そのことを実感したのです。

修学旅行から戻り、到着式がありました。副実行委員長の大矢さんが、感想の言葉を述べました。

「私は、この3日間で広島・京都を訪れ、京都の歴史や平和の尊さを学びました。広島では平和祈念資料館で実際に被爆した方の衣類や写真を見て、戦争の悲惨さをとてもリアルに感じて胸が痛み、今、平和に暮らせていることがどれだけ幸せか、実感することができました。～略～この3日間のことは「楽しかった」だけで終わらせず、これからの学習に生かしていきたいです。」平和への思いは、確かに三中生にも引き継がれたことを実感し、うれしく思いました。

親鸞のお言葉に「さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもすべし」（全ては自分にも起こる可能性がある、と戒めて生きよ）があります。オッペンハイマーが開発しなくとも、きっと誰かが原爆を作り上げたと言われています。人の行為を他人事に非難してはいけなさと、親鸞は言うのです。

私は、慰霊碑の「繰り返しませぬ」の主語を「私は」とし、心に刻みなおしました。

☆☆☆三中生の活躍☆☆☆

【第51回柏崎室内陸上競技記録会】

〔女子〕50m 1位 須貝 5位 田邊 800m 2位 米原 50mH 1位 田邊

走幅跳 2位 中根 3位 三上 4位 小山

〔男子〕1500m 8位 泉 走高跳 1位 鈴木

【上国連書写技能認定書初め大会】会長賞（三席）大場 会長賞 池田

【柏崎市教育委員会表彰】文化賞 畠山・古井丸・五十嵐

競技者賞 須貝・佐藤

【第42回柿崎ソフトテニス杯】2位 曾根・鈴木ペア 3位 大矢・湯本ペア



学校運営協議会



2月10日に第3回学校運営協議会が開かれました。今年度の「地域と結ぶ活動」を振り返り、来年度に向けて有意義な熟議を重ねました。参加者からは「遠足などでもっと地域の名所を知ってほしい」「将来の三中校区について生徒に考えてほしい」などの声がありました。来年度以降も本取組は継続していきます。

PTA運営委員会・引継ぎ会



今年度のPTA活動を締めくくるPTA運営委員会が2月7日に行われ、今年度の活動の報告がなされました。役員の皆様1年間ありがとうございました。また、R7年度の役員として、会長に佐藤さん、副会長に新堂さん・壁下さん・持田さんが選出され、他の役員も承認されました。

歴史と平和を感じた修学旅行

「絆で繋ぐ笑顔の旅-Feeling History&Peace～」をスローガンに2月13日～15日の日程で、2年生の修学旅行が行われました。事前学習の成果を生かし、学年・学級・班単位で広島・京都の多くのものを見て、聞いて、学びを深めました。

一人一人が責任感をもって、全員が協力し合う素晴らしいチームワークを発揮していました。

＜原爆ドームにて＞



いよいよ卒業！



＜愛校活動＞

2月14日の5、6限に3年生が「愛校活動」として、教室・廊下・トイレなど日頃自分たちが使用している場所の清掃を行いました。

＜同窓会入会式＞

2月25日に飯塚同窓会長をはじめ、4名の同窓会役員の皆様をお迎えし、同窓会入会式を実施しました。会長より、三中の歴史や伝統、卒業生に期待することなどをお話いただきました。



＜お知らせ＞

・3月10日以降10（月）～12（水）、14（金）、19（金）は5限授業、それ以外は4限授業となります。

令和6年度教育課程の授業時数確保が十分にできたことが理由です。

＜これからの予定＞ ※3月、4月は口座振替を行いません。

月 日	予定	月 日	予定
3月 3日(月)	マインドチェック	24日(月)	終業式
5日(水)	公立高校一般入試 1, 2年学習の確認	25日(月)	離任式・春季休業(～4月6日)
6日(木)	卒業証書授与式予行練習・準備	4月 4日(金)	クラス発表・新入生事前登校
7日(金)	第77回卒業証書授与式	7日(月)	始業式・入学式
12日(水)	奨学会役員会・評議員会	9日(水)	生徒会入会式・部活見学開始
13日(木)	公立一般入試合格発表	15日(火)	PTA役員全体会・運営委員会
14日(金)	鳴海会	17日(木)	3年全国学力学習状況調査
19日(水)	公立二次入試 愛校活動(1, 2年)	22日(火)	全校朝会(任命式)
21日(金)	公立二次入試合格発表	23日(水)	鳴海会
		25日(金)	授業参観・PTA総会・部活保護者会

